

# 2025 年 1 月 7 日 第 3496 回例会

第1グループ合同例会 於： 横須賀商工会議所

横須賀RC 第3496回/横須賀北RC 第2930回/三浦RC 第2982回  
横須賀西RC 第2553回/横須賀南西RC 第2145回/横須賀RAC 第1201回例会

- <登録・食事> 11:30 司会： 前川 永 久 (横須賀北RC)  
<点鐘・開会> 12:30 ホストクラブ副会長 福 嶋 義 信 (横須賀北RC)  
<斉 唱> 「君が代」  
<合 唱> 「奉仕の理想」  
<ゲスト紹介> \*満願寺住職 永 井 宗 直 様  
\*横須賀青年会議所 理事長 濱 田 真 悟 様  
専務理事 小 菅 大 真 様  
\*青少年交換留学生 Lualy Rehen HOFER TURCATO 様 (横須賀RC)  
\*米山奨学生 沈 葉 心 (シン ヨウシン) 様 (横須賀北RC)  
金 贊 奎 (キム チャンギユ) 様 (横須賀西RC)
- <ホストクラブ会長挨拶> 横須賀北ロータリークラブ 副会長 福 嶋 義 信  
<第1グループガバナー補佐挨拶> ガバナー補佐 前 田 長 生  
<各クラブ会長挨拶> 横須賀ロータリークラブ 会長 高 橋 隆 一  
三浦ロータリークラブ 会長 長 島 満里子  
横須賀西ロータリークラブ 会長 桐ヶ谷 主 税  
横須賀南西ロータリークラブ 会長 宮 本 清 志  
横須賀ローターアクトクラブ 会長 津 村 健 斗



## <出席報告> \*1月7日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
117名	101名	65名	36名	3名	67.33%

メイクアップ：小沢、岡田(英)両会員 地区委員会出席 物井会員 横浜金沢東RC出席

## <ニコニコ報告>

### ・横須賀ロータリークラブ

新年あけましておめでとうございます。本年も第1グループの皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します

### ・三浦ロータリークラブ

前田ガバナー補佐をはじめといたします第1グループの皆様本年もよろしくお願ひいたします。3000例会に向けて準備を進めています。皆様のご参加よろしくお願ひいたします。

### ・横須賀西ロータリークラブ

北クラブの皆さん本日は合同例会の準備有難うございました。横須賀クラブの皆様本日は有難うございます。

### ・横須賀南西ロータリークラブ桐ヶ谷主税様

今年も宜しくお願い致します。

### ・横須賀北ロータリークラブ

新年あけましておめでとうございます。2024-25年度第1グループ合同例会の開催にあたり各クラブ素晴らしい一年のスタートが切れますことを心から祈念いたします。

<卓 話> 「平和について考えてみた」

謹賀新年

正月、今年の目標をたてる人は多いが、目標を未来におく限り、いつまでたっても仏性（悟り）は見えてこない。今すでにその気になれば、何時でも自分が見えている、だからである。いまを離れて自己はないゆえんだ。

平和を考えるにあたって、現代の危機を考えれば、やはり人の心ではないか。現代の危機について禅学者柳田聖山師は以下の3点を指摘している。「未来からの禅より抜粋」（人文書院）

- ① 核 物理的破棄
- ② 経済的破壊
- ③ 文明文化の枯渇

核エネルギーの杜撰な管理による人災、

戦争。人類は猶も開発と備蓄に向かって猪突猛進している。次に経済の破壊。資源の乱掘と浪費に地球は温暖化、痩せおとろえていく、また経済と生産構造の変化で家族が壊滅し、性道徳、生命倫理が力を失う。豊かな物質の生産で生きることは生きているが、当人の所在が不明、生ける屍となるほかはない。そして文明文化の枯渇、最高の科学技術を持ちながらそうした文明文化の豊かさを享受しきれぬ処まで来ている。

ありあまる消費財と情報の渦の中で、それらの再生産に追まわられて、まともに自分の死（自然観）を考えることができない。曾ては、各自の死を大切にすること（メメント・モリ）から、営々と築き上げてきた生の文明が、今は不死の倨傲によって、一挙に死んでしまうことを意味している。私達は今一度、自分自身の死（自然観）というものを考え直さねばなるまい。

今日、私たちは生活条件の急激な変化によって「季節感覚」というものを殆ど見失ってしまった。巨大マーケット通販、スーパーマーケット、食も道具もいつでも安く手に入る。生活必需品は、近代科学の開発によって、時間と季節の制約をとりのぞき、流通機構の改善で地理的制約すら克服、多量に供給、地球上の富を我がものにするに成功したけれども、日々の生活に必要な季節の感覚というか、手造りの風味を一切切り捨ててしまっていないか。いつしか、村の祭りも、初夏のビールも感動と鮮度は落ち、私たちの季節感はいったいどうなってしまったのか。

禅仏教はアジアの農耕文明から端を発してきた宗教である。自然とともにある私たちが、いつしか欲にまみれた人道主義による開発、大量消費、環境破壊、に人の心も知らぬ間に本来の自然からかけ離れた強烈な自我に自己を見失い、強盗、殺人、安易な欲望が荒廃に至っている。

いま、平和を考える時、私は自然界の一部である「わたし」を再認識し、自然とともに生きる喜び、智慧、力を取り戻してゆかねばならないと考える。自然の脅威はいつ身に降りかかることを考えると不安ではあるが、自己を超えて、おおいなる自然とともにある自己。無分別智による、大いなる自己の再発見をせねばなるまい。

最後に禅の紹介として中国宋代の禅の手引書「十牛図」をひもときながら、本来の自己の探求を試みたいと思う。

大いなる自己の再発見は、自然に抗うこともなく、無理なく自分をニュートラルなスタンスで生きる豊かなアジアの叡智である。真実の自己（自然）を取り戻し、真の自由人となって豊かな人生を私たちは歩んでいきたい。真の平和は心の平和である。自我を越え、自然とともにある豊かさ、隣人、子どもやお年寄りにやさしい社会はこころの平穏無事であり、平和への一考としたい





<閉会・点鐘> 13:30 ホストクラブ副会長 福嶋 義信 (横須賀北RC)

週報担当 小澤 長幸